

付属資料 10 指導医用専攻医評価表

専門研修プログラム名	整形外科専門研修プログラム				
研修期間					
評価する専攻医氏名					
指導医氏名					
	評価項目	優	可	不可	コメント
学習	専門知識量				
	自主性				
	集中力				
態度・倫理観	外来診療				
	入院患者・家族とのコミュニケーション				
	医療職スタッフとのコミュニケーション				
	全般的倫理観、責任感				
専門スキル	検査手技				
	診断能力				
	手術手技				
	治療計画の妥当性				
	カルテ記載内容と完成までの期間				
	IC の内容				
発表・研究	カンファレンスの発表				
	学会発表・論文の作成				
	リサーチマインド				
リスク管理	外来				
	病棟				
	手術室				
	報告・連絡・相談				

指導医が行う専攻医の評価基準（優・可・不可）①

学習

- ・ 専門知識の程度
優：顕著で有り合格
可：やや物足りないが合格
不可：不十分であり不合格
- ・ 自主性
優：自発的学習し、指摘後もすぐに学習する
可：指摘されてから学習するが合格
不可：指摘されても学習しない
- ・ 集中力
優：高い能力がある
可：普通である
不可：集中力に欠ける

態度・倫理観

- ・ 外来診療
優：診療はスムーズで患者苦情もない
可：普通である
不可：種々の努力が必要
- ・ 入院患者・家族とのコミュニケーション（意思疎通・協調性・自己表現）
優：患者・家族からの評価が高い、またはそうわれる
可：普通である
不可：患者から苦情が多い
- ・ 上司・同僚・医療職員とのコミュニケーション（同）能力
優：評価は高い
可：普通である
不可：全く評価されない
- ・ 全般的倫理観・責任感
優：高い倫理観・責任感がある
可：普通である
不可：倫理観に欠け問題を起こした、または責任感に欠ける

指導医が行う専攻医の評価基準（優・可・不可）②

専門スキル

- ・ 検査手技
優：的確に効率よくできる
可：合併症無く一人でできる
不可：理解不足で一人で出来ない
- ・ 診断能力
優：鑑別診断を含め思考過程が整然としている
可：普通に診断は出来る
不可：基本からやり直すべきレベル
- ・ 手術手技
優：理解度は高く、自分で出来る
可：理解しているが途中までしか自分で出来ない
不可：理解不足で研鑽し直し
- ・ 治療計画（プランニング）の妥当性
優：納得できる計画を立案できる
可：普通である
不可：思考過程から研鑽し直し
- ・ カルテ記載の内容と仕上げまでのスピード
優：完成度の高いカルテを遅延無く作成できる
可：普通に作成できる
不可：不備があり遅れがちである
- ・ インフォームドコンセントの内容
優：理解しやすく十分な内容の説明が出来る
可：普通である
不可：理解しにくく内容も不十分である

指導医が行う専攻医の評価基準（優・可・不可）③

発表・研究

- ・ カンファレンスの発表
優：ポイントを捉え上手なプレゼンテーションが出来る
可：普通である
不可：発表能力に欠けさらなる研鑽が必要
- ・ 学会発表・論文の作成
優：積極的で有り、自主性を持って実践している
可：普通である
不可：全く興味が無い
- ・ リサーチマインド
優：探究心が旺盛で自主的に参加している
可：普通である
不可：全く興味が無い

リスク管理

- ・ 外来でのリスク管理
優：十分な配慮がなされている
可：普通である
不可：不十分である
- ・ 病棟
優：十分な配慮がなされている
可：普通である
不可：不十分である
- ・ 手術室
優：十分な配慮がなされている
可：普通である
不可：不十分である
- ・ 報告・連絡・相談
優：初動が速く、漏れがない
可：普通である
不可：不十分である